

取組結果・課題まとめ

事業用自動車総合安全プラン2020中部ブロック取組計画のレビュー

事業用自動車総合安全プラン2020に基づく中部ブロックの事故等削減目標

- ①令和2年までに死者数20人以下
- ②令和2年までに人身事故件数2,550件以下
- ③飲酒運転ゼロ

1. 事故発生状況まとめ

事業用自動車総合安全プラン2020 中部ブロック取組計画 数値目標の達成状況 等

① 全国の状況

- 全業態、業態別ともに減少傾向を維持
- 事業用自動車総合安全プラン2020で策定した数値目標（※）は全業態、業態別ともに達成できない見込み

※ 【全国】 事業用自動車総合安全プラン2020 事故等削減数値目標

① 令和2年までに
死者数235人

【バス】 // 死者数10人以下
【タクシー】 // 死者数25人以下
【トラック】 // 死者数200人以下

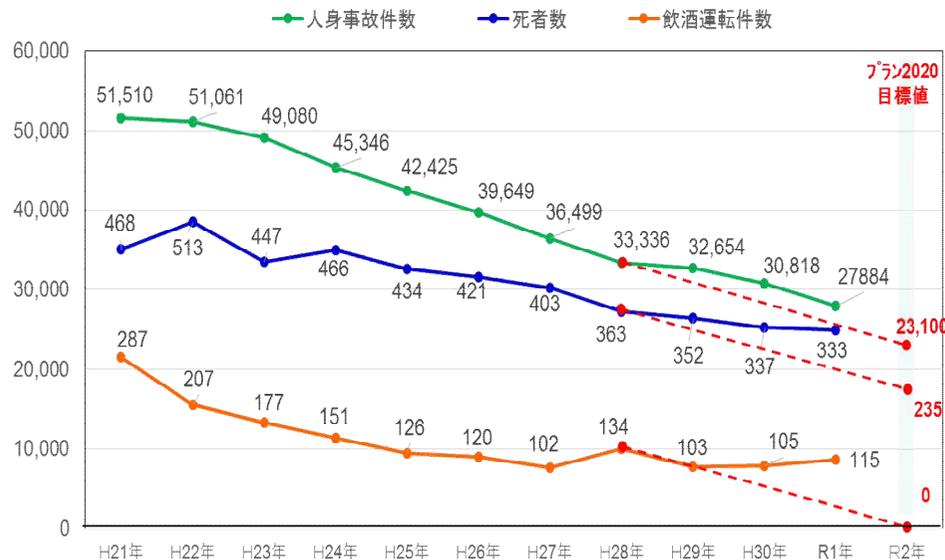
② 令和2年までに
事故件数23,100件以下

【バス】 // 事故件数1,100件以下
【タクシー】 // 事故件数9,500件以下
【トラック】 // 事故件数12,500件以下

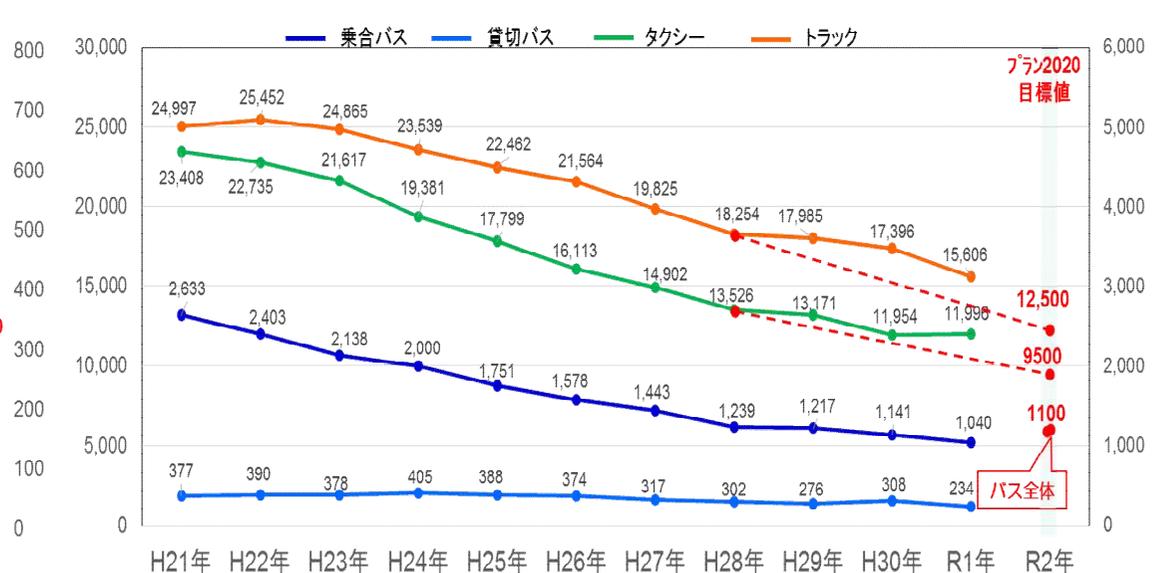
③ **飲酒運転ゼロ（★）**

★バス、タクシー、トラック共通

【全国】全業態 事故等発生件数推移



【全国】業態別 事故等発生件数推移



② 中部ブロックの状況

- 全業態、業態別ともに減少傾向を維持
- 事業用自動車総合安全プラン2020中部ブロック取組計画で策定した数値目標（※）については
バス、タクシーは死者数、人身事故件数とも達成見込み
トラックについては未達成見込み
飲酒運転件数は未達成

※ 【中部ブロック】 事業用自動車総合安全プラン2020 事故等削減数値目標

① 令和2年までに

死者数 20人

【バス】	〃	死者数	20人以下
【タクシー】	〃	死者数	0人
【トラック】	〃	死者数	0人

② 令和2年までに

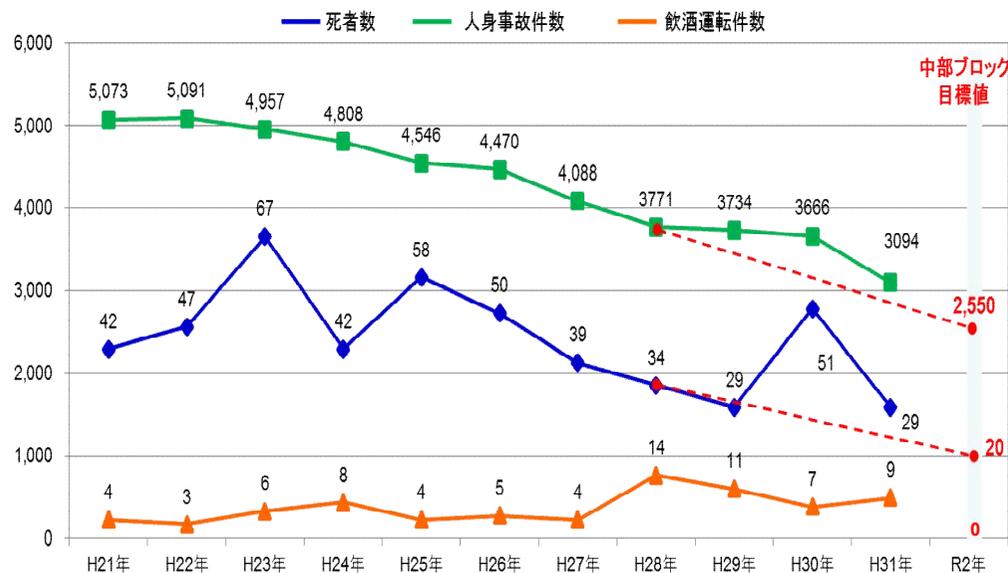
事故件数 2, 550件以下

【バス】	〃	事故件数	100件以下
【タクシー】	〃	事故件数	750件以下
【トラック】	〃	事故件数	1,700件以下

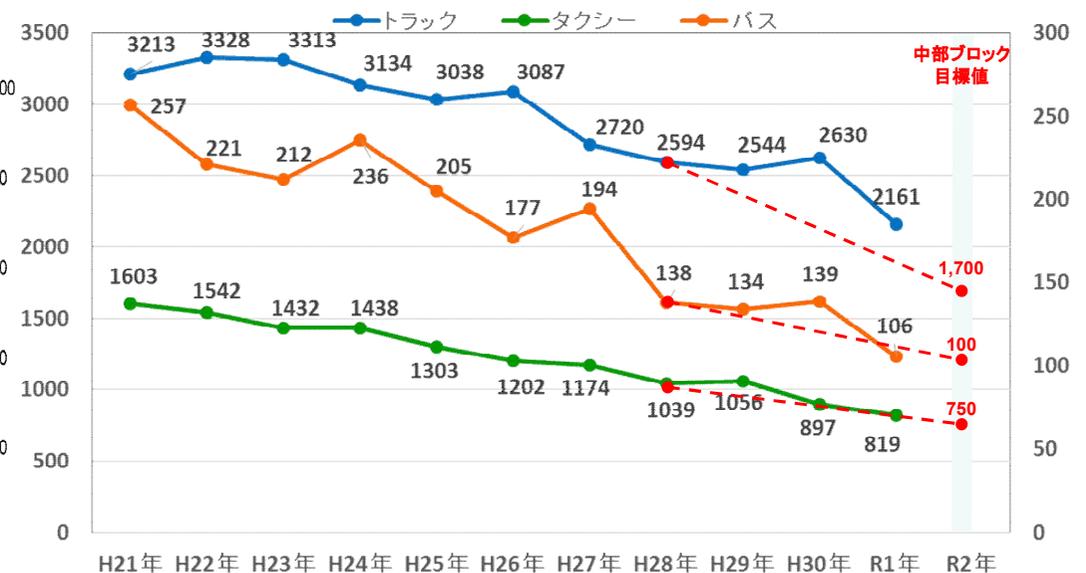
③ **飲酒運転ゼロ（★）**

★バス、タクシー、トラック共通

【中部ブロック】全業態 事故等発生件数推移



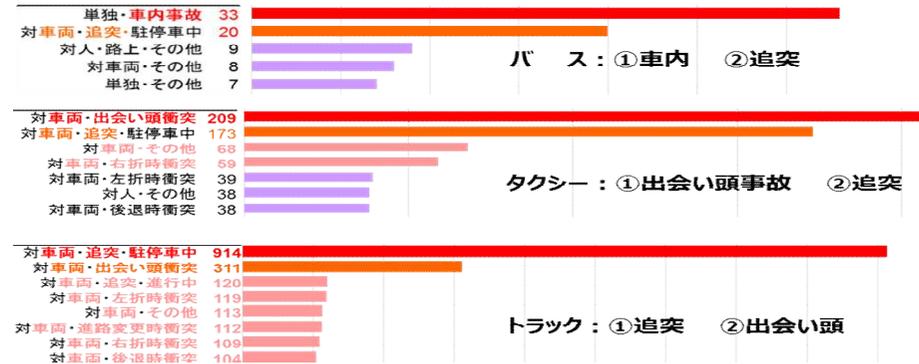
【中部ブロック】業態別 事故等発生件数推移



③中部ブロック各業態の事故の傾向（R1年 事故類別）

バス：車内、追突
 タクシー：出会い頭、追突
 トラック：追突、出会い頭
 の順に多く発生

【中部ブロック】業態別 事故類型（R1年、各業態上位抜粋）



④各県各業態の事故の傾向（H28～R1年 事故類別）

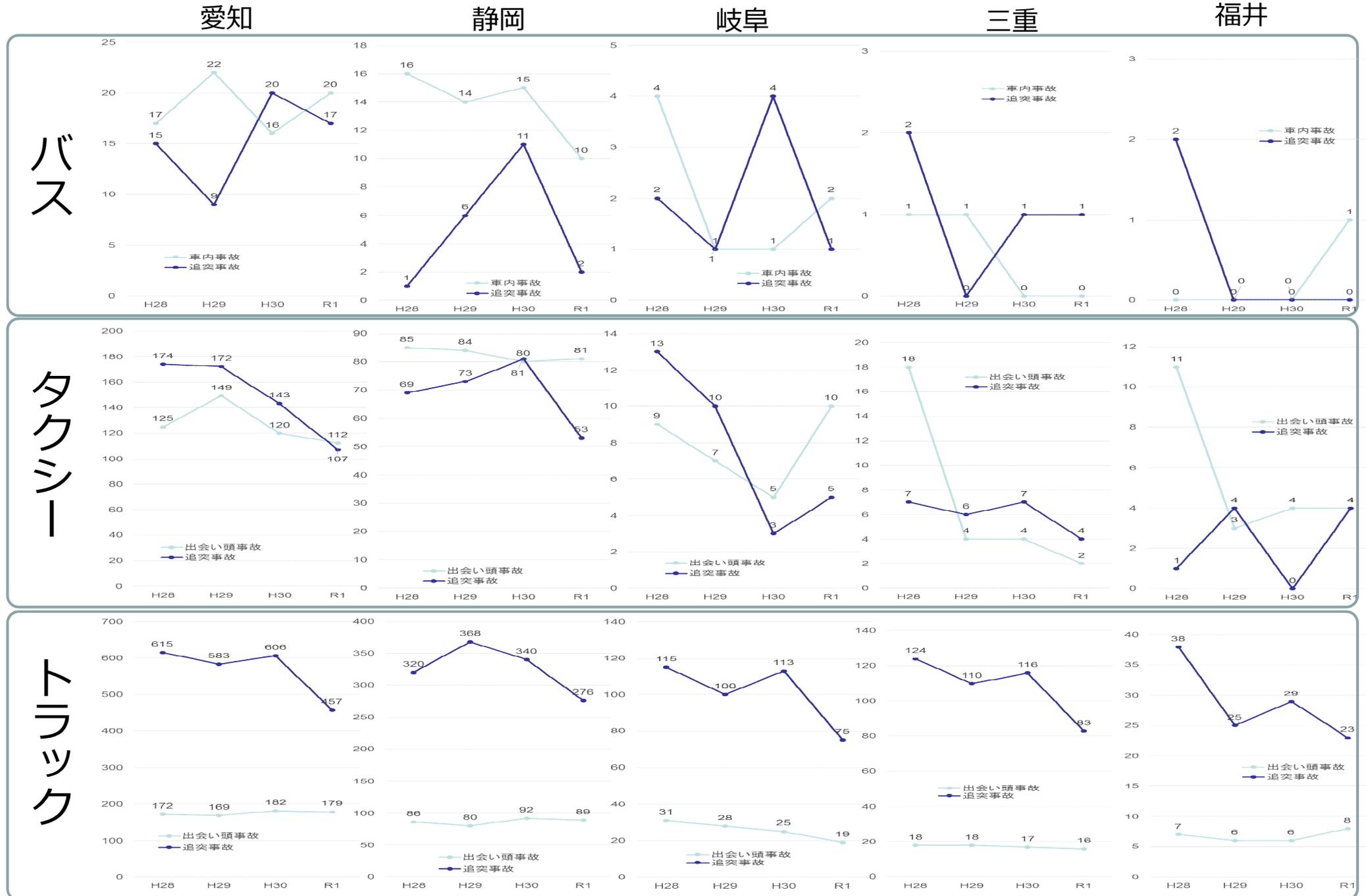
県別では推移にばらつきがあるものの次のことが言える

- 愛知
 - バス：車内、追突ともに横ばい
 - タクシー：追突が大きく減少、出会い頭は減少幅鈍化
 - トラック：追突が横ばいからR1大きく減少、出会い頭横ばい
- 三重
 - バス：（全体の件数少なく、傾向読めず）
 - タクシー：出会い頭は大きく減少、追突は横ばいから減少
 - トラック：追突は減少、出会い頭横ばい
- 静岡
 - バス：車内が横ばいからR1大きく減少、追突は増加から減少
 - タクシー：出会い頭は横ばい、追突は増加から減少
 - トラック：追突は減少、出会い頭横ばい
- 福井
 - バス：（全体の件数少なく、傾向読めず）
 - タクシー：出会い頭は大きく減少、追突は横ばい
 - トラック：追突は減少、出会い頭横ばい
- 岐阜
 - バス：（全体の件数少なく、傾向読めず）
 - タクシー：追突は減少、出会い頭は減少から増加
 - トラック：追突は大きく減少、出会い頭は緩やかに減少

1. 事故発生状況まとめ

事業用自動車総合安全プラン2020 中部ブロック取組計画 数値目標の達成状況 等

【各県】 業態別 事故類型 (H28~R1年)



中部ブロック取組計画で策定した関係者の取組結果

① バス

- コロナ禍による密を避けるため、研修会等の代わりに会員に教材（新型コロナウイルス対応関連及び運転中の自然災害対応に関する書籍）を配布
（愛知県バス協会）【教育資材提供】
- 7月の車内事故防止月間に合わせ、県及び県内の市町村へ利用者への啓発資料の広報を依頼
（静岡県バス協会）【利用者啓発】
- 貸切バス・高速バスに搭載するエチケット袋にシートベルト着用のお願ひ文を印刷し、バスに常備する資材を利用者への啓発グッズとして活用
（岐阜県バス協会）【利用者啓発】
- 脳ドック助成、自動車安全運転センター中央研修所での研修費用負担
（三重県バス協会）【運転者の育成、健康管理】
- NASVAのドライブレコーダトレーニングテキストを全会員に配布
（福井県バス協会）【教育資材提供】

中部ブロック取組計画で策定した関係者の取組結果

② タクシー

- 会員事業者に対し（自動車運送事業の「働きやすい職場認証制度」）の一つ星認証取得を促すとともに、タクシー乗務員求職者向けポータルサイト開設を計画するなど働きやすい職場環境を外部にもアピールし、就職率の向上を図ることで将来に向けての職場環境の改善を目指す
（名古屋タクシー協会）【事故分析・事故防止活用】
- 協会けんぽ愛知支部及びけんぽれんあいちが認定する「健康宣言チャレンジ」への参加を啓発（現在会員事業者9者が認定を取得）
（愛知県タクシー協会）【運転者の健康管理】
- 会員事業者に所属する全タクシー車両に、利用者に対するコロナ感染防止とシートベルト着用を啓発するステッカーを作成、貼付
（静岡県タクシー協会）【利用者啓発】
- 無事故無違反ドライバーコンテストを開催、会員事業者の運転者のべ437人が参加、参加者及び達成者に記念品を贈るなどして参加者のモチベーション維持にも配慮
（岐阜県タクシー協会）【運転者の安全意識醸成】
- 新規登録運転者講習に合わせ、受講者に飲酒運転防止と覚せい剤等薬物使用禁止の徹底を指導
（三重県タクシー協会）【運転者の安全意識醸成】
- 先進安全自動車の普及促進に併せたUD研修の開催
（福井県タクシー協会）【先進安全自動車の導入啓発・運転者の育成】

③トラック

- 事業用トラックによる死亡事故の発生状況等を踏まえ、事故防止啓発ツール（eラーニング）のメニューを策定、会員専用HPへ掲載、運転者教育への活用を促す
（愛知県トラック協会）【事故分析・事故防止活用】
- 効率的な啓発を図るため、トラックの死角・交通ルール等をまとめた交通安全啓発DVDを作成、県下小中高校及び特別支援学校1,002校に配布
（静岡県トラック協会）【交通参加者への啓発】
- 県警の協力の下「優良ドライバー認定制度」を創設、会員事業者の運転者2,000名の認定を目指し参加啓発、現在1,600名超が認定を受け、認定運転者の使用する車両への認定ステッカー表示・認定運転者の認定胸章装着を通じ、業界内外へGマーク同様に安全性をアピール
（岐阜県トラック協会）【運転者の安全意識醸成】
- 「無事故無違反ラリー200days」を開催、会員事業者は参加に際し「安全宣言」として参加表明してもらい、事業者内において専用カレンダーを掲出し取組に参加していることを知らしめるとともに、協会においては参加事業者をHPで公開（113社3,209名参加）
（三重県トラック協会）【運転者の育成、健康管理】
- 交通安全の統一行動日を記したカレンダー及び飲酒運転防止啓発ポスターを作成、会員事業者へ配布するとともに広く一般にも啓発するため当該カレンダー及びポスターを県警に寄贈、県警から飲食店等へ配布及び掲出依頼
（福井県トラック協会）【交通参加者への啓発・飲酒運転防止啓発】

中部ブロック取組計画で策定した関係者の取組結果

④-1 NASVA（自動車事故対策機構）

名古屋主管支所管内における実施結果（R2年度、予定含む）

今年度は新型コロナウイルスの影響により、運行管理者等指導講習・安全マネジメントセミナーの受講者数は落ち込んでいたが、下半期の増回により目標の達成を目指す

➤ 運行管理者等指導講習

基礎講習： 3,850名（目標：4,000名）
 一般講習： 11,000名（目標：10,000名）
 特別講習： 220名（目標：200名）

※括弧内目標はR2年度目標値

➤ 運輸安全マネジメント関連セミナー

ガイドラインセミナー： 158名（目標：200名）
 リスク管理セミナー： 138名（目標：100名）
 内部監査セミナー： 140名（目標：90名）

➤ 適性診断活用講座

： 210名（目標：124名）

④-2 自動車整備振興会

中部ブロック管内の事業用自動車の車輪脱落事故の状況

- 発生件数 → ここ数年ほぼ横ばい
- バス、タクシー（ジャンボタクシー）でも発生
- R1年度は自家用自動車も含めた車輪脱落件数が過去最高※となり、現在、行政及関係団体において「大型車の車輪脱落事故に係る令和2年度緊急対策」を実施中

※令和元年度車輪脱落事故件数 112件（自家用自動車含む）

事業用自動車の車輪脱落事故発生状況の推移（中部ブロック）

年	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2(速報値)
件数	0	3	4	3	3	5	4
内訳	バス		1				
	タクシー					1	
	トラック		3	3	3	4	4
全国(参考)	30	32	47	50	89	70	43

中部ブロック管内の自動車整備振興会の取組

- 車両の高度化への対応：整備事業者に対するスキャンツール研修・セミナーの開催、スキャンツール活用事業場の認定制度の創設
- 自動車点検整備の啓発：マイカー点検教室の開催、ラジオ・テレビCMの放映
- 自動車運送事業者に対する大型車の適切な点検・整備の啓発：整備管理者研修への講師派遣

中部ブロック取組計画で策定した関係者の取組結果

⑤ 行政（Mission 1st運動）



運動のレビュー

第1段階 行政からの情報提供

できた

- 講演資料を定期的（4半期ごと）に提供
- 事故防止の内容のみならず運送事業全般に関する行政からのトピックも掲載
- 自家用有償運送者向け資料も提供（地域公共交通会議で活用）

できなかった

- 事業者が真に何の情報をお求めているのか拾い切れていない
※各講演で収集したアンケート結果：批判的意見ほとんど無し
- 事業者にお伝えしなければならない内容が整理できていない（伝える側の理解不足も影響）

第2段階 事業者からの優れた取組の提案

できた

- 監査によらず、事業者にお訪問、調査できる仕組みを構築

できなかった

- 行政側調査員のスキル不足（事業者の良いいところを拾いきれない）
- 調査結果の発信不足（調査結果をまとめ切れない）

第3段階 利用者への取組情報の発信

できた

- 従前の取組（車内事故防止強化月間、セミナー）の実施

できなかった

- 予算不足による発信力の限界（まずは予算だが、工夫も必要（YouTube等の活用））

中部ブロック取組計画の総括、今後の取組に向けた課題の整理

各取組等に対する総括及び課題

事故等発生状況

総括 全事故件数が継続して減少

課題 事故類別件数は減少していない、あるいは増加傾向にある類別が存在
飲酒運転・飲酒事故が「ゼロ」となっていない

関係団体の取組

総括 安全プランで示された重点施策に沿って計画的に実施

課題 取組を実施した結果が見えない

行政の取組（Mission 1 st運動）

総括 事故防止の取組に対する関係者の理解を深めるためのツールとして有効

課題 発信する内容、発信力ともに弱い

その他

課題 「高齢運転者対策」「運行管理のICTの活用」について積極的なアプローチが必要